

令和7年南房総市教育委員会第6回定例会会議録

- 1 日 時 令和7年6月26日（木）午後3時00分開会～午後3時50分閉会
- 2 場 所 丸山分庁舎 2階 第1会議室
- 3 出席委員 教育長 三幣 貞夫 教育長職務代理者 岡崎 俊明
委 員 庄司 美佳 委 員 渡辺 祐子
委 員 稲葉 泰
- 4 出席職員 教育次長 平井 雅也 参 事 林 明正
教育総務課長 永井 政明 学校再編整備課長 鈴木 守
子ども教育課長 井野 秀文 生涯学習課長 根形 貴洋
子ども家庭支援室長 藤倉 朋弘 学校再編整備課長補佐 生稻 秀昭
子ども教育課長補佐 唐尼 和宏 子ども家庭支援室長補佐 立川 洋一
生涯学習課長補佐 宇山 隆一
書 記 教育総務課課長補佐兼総務係長 宇山 尚希

5 開 会 岡崎教育長職務代理者が開会を宣言

6 会議録署名人の指名 岡崎教育長職務代理者が庄司委員を指名

7 会議録承認 令和7年5月19日開催の第5回定例会会議録について承認

8 議 事

報告事項

① 教育長報告

本日の教育委員会議は、午前中からの長時間にわたる学校訪問にご参加いただき、誠にありがとうございました。

まず、前日に行われた議会で、教育に関して県立高校を市立高校へと転換する可能性や、高校との連携についての質問をいただきました。特に、拓心高校が市立高校となった場合の展望についてなど、今までの質問とは少し違った新しい視点からのご意見で、議会の皆さまが高校教育に関心を寄せてくださっていることは、大変ありがたく感じています。現在、拓心高校とはいろいろな面で連携を進めています。通学のためのスクールバスは、これ

までの2路線に加え、今年度から新たに1路線が加わり、平群地区の生徒の利用がしやすくなりました。また、ICT環境の整備として、新入生に110台のタブレット端末を3年間貸与する取り組みも進めており、館山総合高校からも55台の申込みがあり、対応を進めているところです。

拓心高校では、南房総市内の地域を実際に学びの場とする活動も積極的に行われています。それに合わせて、市でもスクールバスの支援を行っており、今年度はすでに3件の事例がありました。これは拓心高校に限らず、安房高校の生徒も利用しているとのこと。

学びの支援としては、夏休みや冬休みに拓心高校の中で補習講座を実施する予定です。南房総市在住の高校生であれば、拓心高校の生徒だけでなく私立高校の生徒も受講できるようになっており、市が費用を負担するかたちで進めています。内容としては、大学進学を考えている生徒に向けた補習や、公務員試験に向けた学習支援などを計画しており、現在、拓心高校と協力して調整を進めているところです。こうした取り組みを、今後さらに広げていけるよう、令和8年度以降も視野に入れています。

また、本日午前中には、子ども家庭支援室の職員が長狭高校を訪問し、不登校や登校が難しい生徒への支援について、学校と協議を行いました。校長先生からも前向きなお話があり、今後は支援室の職員が生徒や保護者に寄り添いながら、週単位で関わっていく体制を整えていく予定です。

拓心高校には、特別支援学級に在籍していた生徒が約1割、また、いわゆるグレーゾーンとされる生徒も含めると、全体の約2割ほどが何らかの支援を必要としている可能性があるとのことでした。こうした生徒たちにとって、これまでの高校教育の枠組みでは対応が難しいこともあり、先生方が戸惑う場面もあるとのことがありました。

そのため、市では特別支援教育に関する会議や研修の場に、拓心高校の先生方にもご参加いただいています。高校の現場での取り組みや苦労を共有していただき、市としても大変参考にさせていただいています。今後も、高校と一緒に取り組んでいけるような関係づくりを大切にしていきたいと考えています。

このように、本日の会議では、高校との連携や学習支援、不登校のサポート、そして特別支援教育について、さまざまな取り組みが報告されました。市としては、これからも子どもたち一人ひとりに寄り添いながら、よりよい教育環境づくりを進めてまいります。

私からは以上です。と報告。

各課報告

ア 永井教育総務課長が、令和7年度千葉縣市町村教育委員会連絡協議会並びに特別講演

について報告・説明

イ 鈴木学校再編整備課長が、白浜地区学校再編に関する PTA 役員説明会、千倉地区学校再編に関する PTA 役員説明会、富浦地区学校再編検討委員会について報告・説明

ウ 井野子ども教育課長が、南房総市一斉防災訓練（幼小中学校）、南房総市小中英語担当者会議①、南房総市園長・校長会議②、南房総市幼小接続研修会①、南房総市学校事務共同実施③について報告・説明

エ 藤倉子ども家庭支援室長が、南房総市特別支援コーディネーター会議、南房総市特別支援教育支援員会議、南房総市児童虐待対応担当者会議、南房総市ことばの検査協力員会議②、南房総市要保護児童対策地域協議会実務者会議、南房総、市特別支援学級担任・通級指導教室担当者会議について報告・説明

オ 根形生涯学習課長が、令和 7 年度安房郡市 P T A 連絡協議会総会、令和 7 年度第 1 回図書館協議会、令和 7 年度第 1 回南房総市社会教育委員会会議、令和 7 年度第 1 回南房総市公民館運営審議会会議、第 1 6 回南房総市朝夷青少年健全育成剣道大会、第 1 6 回南房総市長杯ジュニアサッカー大会、南房総市 P T A 連絡協議会広報研修会、令和 7 年度安房郡市子ども会育成連盟総会、令和 7 年度千葉県 P T A 連絡協議会定期総会、少年の日・地域のつどい安房地区大会について報告・説明。

(質 疑)

渡辺委員 5 月の 2 0 日と 2 1 日に行われた防災訓練についてですが、今回はいずれも大地震の発生を想定した訓練だったと思います。各学校の防災体制、また児童生徒一人ひとりの防災対について、新たな気づきや、例年には見られなかったような課題等がありますか。

井野子ども教育課長 今回の防災訓練においては、教育委員会として体制を一部見直し、市の防災対応により近いかたちで臨みました。実際に災害が発生した場合を想定した実践的な体制のもとで、市全体として連携を図りながら訓練を実施できたと考えております。

庄司委員 行事計画の方で、7 月 17 日に安房高等学校の生徒が家庭科の視察研修を行う予定と伺いました。これまでにこのような高等学校と中学校が連携した視察や交流活動はあったのでしょうか。

永井教育総務課長 これまでそのような形での連携事例はあまりなく、今回が初めての試みとなります。安房高等学校の理科部と富山学園が、理科的な視点での研究交流や実験活動を行ったことはありましたが、家庭科の学びの一環として「子育て」を切り口に視察を行うのは今回が初めてです。

三幣教育長　今回は、安房高等学校の3年生29人から「南房総市では、子育てについてどんな授業をやっているのか教えてほしい」という話がありまして、研修という形で来ることになりました。

当日は、富山子ども園と富山小中学校を見学してもらって、実際の施設を見たり、給食も一緒に食べたりしてもらおう予定です。その内容をもとに、今度は9月に私が安房高校へ行って、家庭科の授業を1時間ほどやる予定になっています。

(報 告)

- ① 報告第5号 臨時代理の報告について(令和7年度南房総市一般会計補正予算(第2号)案に対する意見の聴取について) 各課長が資料に基づき説明した。

(質 疑)

岡崎教育長職務代理者　この中に設計業務委託とありますが、これは設計を行うということでしょうか。実際に工事に入るのは今年度になるのか、それとも次年度以降になるのか、その見通しについて教えてください。

根形生涯学習課長　今年度は設計業務のみを予定しております。現時点では工事にかかる費用が明らかになっておらず、金額の見通しが立っていない状況です。そのため、設計により概算費用を把握した上で、次年度以降に実施するかどうかを判断していきたいと考えております。

- ② 報告第6号 報告第6号 臨時代理の報告について(職員の分限処分について)は人事案件につき、会議を非公開で行いたい旨、岡崎教育長職務代理者から発言があり、委員承認により会議は非公開とした。永井教育総務課長が資料に基づき説明した。

- ③ 報告第7号 臨時代理の報告について(契約の締結についてに対する意見の聴取について) 根形生涯学習課長が資料に基づき説明した。

(質 疑)

岡崎教育長職務代理者　手続きに関する確認になりますが、先ほど、設計業務委託を行い、場合によっては次年度、または今年度中に本工事を実施する可能性があるとのこと説明がありました。今回の約4億8,000万円の工事については、すでに設計業務は完了しているという理解でよろしいでしょうか。

根形生涯学習課長　本工事については、すでに設計業務は完了しております。ただし、当該施設は夏場にイベント等で多く利用されるため、工事の着手は9月頃を予定しています。工期はおおむね3月中旬までを見込んでおり、その期間での完了を目指して

おります。

その他

井野子ども教育課長及び藤倉子ども家庭支援室長から、会計年度任用職員等の人件費について説明、永井教育総務課長から、次回定例会の開催日について説明があり、第7回定例会を7月22日（火）に丸山分庁舎で開催することで決定した。

9 閉 会 岡崎育長職務代理者が閉会を宣言

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

令和7年7月22日

南房総市教育委員会 教育長 三 幣 貞 夫

南房総市教育委員会 署名人 庄 司 美 佳

南房総市教育委員会 書 記 宇 山 尚 希